

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 夢の郷

社会福祉法人 夢の郷

基本理念

1. 人権を守り主体性の尊重に努めます
2. 地域で暮らすための環境整備に努めます
3. 安心と安全の保障に努めます

運営方針

1. 利用者が選択できるメニュー（ハード・ソフト面）を提供する
2. 利用者の生活を見守り柔軟に対応する
3. 利用者主体の事業を推進する

夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせるよう生活支援を行います

目 次	ページ
1 はじめに	1～7
2 事業案内 社会福祉法人夢の郷	8～9
3 行事等実施報告	10
4 実習・ボランティア・介護体験等実習 受入報告	11～12
5 研修委員会報告	13～14
6 苦情解決委員会	15
7 危機管理委員会	16～17
8 広報委員会報告	18
9 給食委員会報告	19
10 協力医療機関受入結果報告	20～21
11 各事業所報告	
1 法人本部	22～23
2 朝海ハイム	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊型自立訓練事業 24～26 ・生活介護事業
3 クローバーハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型事業 27～28
4 いすず工房	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型事業 29～31 ・生活介護事業
5 グループホーム夢の郷	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助事業 32～33 はるか・あすか・南風荘・朝海ハイムⅡ
6 アンダンテ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援事業(日中一時支援事業) 34～35 ・特定相談事業
7 津市障害者相談支援センター	36～37
8 その他の事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃向上報告書クローバハウス 38 ・工賃向上報告書いすず工房 39

はじめに（平成29年度を振り返って）

社会福祉法人夢の郷（以下「当法人」という。）は精神障がい者社会復帰施設として平成11年度に開設以来20年近い年月を経てきました。この間には多くの課題を抱えながらも役員・職員の懸命な努力の中で津地域の中で一定の役割を担うところまで発展してきました。

しかし、法人の掲げる基本方針・運営方針にはまだまだ十分に達したとはいえません。一人ひとりの職員が、その方針を十分理解して日々の業務に励んでいくことがより一層求められています。

また、障がいに対する社会の認識や環境が年々変化する中で、職員がそれに十分に対応できているのか日々問われています。

平成28年度には社会福祉法人の憲法というべき社会福祉法の大きな改正があり、平成29年度は、行政の支援を受けながら法改正に対応する体勢づくりを行いました。

I 社会福祉法の改正に基づく事業の展開について

1 ガバナンスの強化について

当法人においては、法改正前は理事が評議員を兼務していましたが、法改正を受け兼務をなくし、理事・評議員の役割りの明確化を図りました。

理事会は、6人体制になり、運営管理・執行機関として3ヶ月ごとに開催し事業の運営責務を果たしていただいております。

また、評議員会は、平成29年2月21日の評議員選任・解任委員会で選任された7名の評議員のもと、第一回の6月21日の定時評議員会から活発な議論があり、当法人の最高議決機関として事業運営のチェック機能を果たしていただいております。3月には第二回の会議を開催いたしまして30年度の事業計画・予算について審議をしていただきました。

2名の監事につきましても、毎回理事会及び評議員会に出席いただき、役員の職務の執行状況等について監査をいただき、また貴重な意見や指摘をいただいております。

2 事業運営の透明性について

事業運営の透明性を確保するために、当法人ホームページに定款・計算書類・財産目録等を公表しています。また、事務所においても、定款等の備置き、どなたでも閲覧が出来るように情報開示を行っています。

3 財務規律の強化

役員報酬基準についても、インターネットや事務所の備置きなどで情報開示をし

ています。当法人と役員等の間に特別な利益供与、取引等は全くなく、公正な運営に努めています。

また、嘱託税理士は、毎月2回経理関係書類を入念にチェックし、役員会等では財務内容を説明、意見交換を行い財務の健全化に寄与していただいています。

なお、平成29年度監査結果報告書では、法人・施設運営共に適正と報告されています。

4 社会福祉充実残額の活用

社会福祉法の改正により、社会福祉充実残高を計算することが必須となりました。これは、法人の保有財産のうち、事業継続に必要な控除対象財産を控除してもなお残額が生ずる場合には社会福祉充実残高として社会福祉事業等に再投資する計画の策定するものです。

平成28年度決算に基づき計算したところ社会福祉充実残高が860千円となり、理事会・評議員会に諮り職員スキルアップ事業【職員の資質向上を図るため研修等の受講費用に補助する】に活用することとしました。総額860千円の5カ年計画で各年度172千円の事業費です。

29年度については次のとおり活用しました。

○各種職員研修会の受講料、テキスト代	7人	33,800円
○全国社会福祉法人経営者大会の参加費、旅費等	3人	36,400円
○第10回全国精神保健福祉家族大会 旅費、参加費等	3人	75,000円
○リーダー養成ゼミナールフォロー研修会 交通費等	1人	34,860円
計	14人	180,060円

5 地域公益事業の推進（ふれあいうどんの実施）について

地域公益事業として、平成28年度に南郊中学校ナイトスクール生に対して夜食用パンの提供を検討し、平成29年度実施を計画していましたが、主催者のナイトスクール側から事業の主旨にかなわないところがあり辞退の申出があり中止となりました。

本年度の地域公益事業について検討した結果、就労継続支援B型事業「いすず工房」内「いすず亭」のうどん製麺、販売機能を活用し、東城山地域の一人暮らしの高齢者を対象にふれあいの場と機会を提供する「ふれあいうどん」を実施することとなり、実施は平成30年5月からの予定です。

当面、対象者には、通常450円のうどんを250円で販売し、差額の200円を当法人が負担する「ふれあいうどん200円割引券」1枚を地区民生・児童委員様より配布していただきます。

6 夢の郷将来構想の進捗状況について

夢の郷将来構想【2017年度～2022年度】については、平成29年3月に策定しましたが、本年度、ハード面の重要課題であるアンダンテの新築移転、新グループホーム城山荘の建設計画については、障がい者に対する理解の課題などがあり残念ながら殆ど進展させることができませんでした。

当法人利用者においても年々高齢化が進んでおり、それに伴うハード、ソフト両面の施設運営のあり方を検討する必要があります。このため、就労時間の短縮など利用者に即した対応をしてきました。

地域での住まいの場であるグループホームの増床のみならず、多様な居住支援についても考えていかなければならないと思います。また、利用者ニーズに沿った一人暮らしへのサービス等の提供も検討する必要があります。

また、施設の効率的な運営を図るため、高齢者・児童福祉など障がい区分にとられない多機能な施設【共生型】サービスについても検討する時期を迎えています。当事者のニーズに沿った弾力的な対応をしていきます。

7 人材の確保及び育成について

全国的な求人難の中、新卒職員や専門職種の持つ人材の確保が厳しくなっており、当法人においても、新卒職員は採用できませんでした。

平成29年度は、グループホームあすか、及び朝海ハイム（宿泊型自立訓練事業）の夜間支援従事者（パート）5名、グループホーム世話人（パート）1名、目標工賃達成職員1名の合計7名の社会経験豊かな中高年者を新規採用し、利用者支援の充実に努めました。

また、優秀な職員の定着と確保をするため、出来るだけのベースアップを図ったところです。

8 各事業所の利用状況等について

1 朝海ハイム

(1) 生活介護事業

定員 20 名に対する充足率が 69.5%の 13.9 名で、前年度より 12.0 ポイント、人数で 2.4 人減少している。重度・高齢化の傾向にあるが充足率を更にあげる努力が必用です。

利用者の日中活動の充実や生甲斐を向上させるための軽作業やこころの医療センター内「和み部屋」での地域交流等の活動を充実に取り組む必要があります。

2 年以内の生活訓練のため、次のステップを目指して、プランに沿った訓練を行います。

(2) 宿泊型自立訓練生活事業

定員 10 人に対し充足率が 89.0%の 8.9 人で、前年度より 19.0%の 1.9 人の増加であり、この状況を維持していく努力が必要です。

事業所名	事業名	定員	開設日	介護給付費等収入	
朝海ハイム	生活介護	20 人	269 日	介護給付費等収入	
年度	年間延利用者数 (人)	1 日利用者数 (人)	充足率 (%)	年間収入 (円)	1 日 1 人 当り (円)
H28	4,381	16.3	81.5	39,532,548	9,024
H29	3,744	13.9	69.5	34,524,693	9,221
対前年差	-637	-2.4	-12.0	-5,007,855	198
対前年比	85.5	85.3%		87.3%	102.2%

事業所名	事業名	定員	開設日	介護給付費等収入	
朝海ハイム	宿泊型自立訓練	10 人	365 日	介護給付費等収入	
年 度	年間延利用者数 (人)	1 日利用者数 (人)	充足率 (%)	年間収入 (円)	1 日 1 人 当り (円)
H28	2,570	7.0	70.0	10,524,402	4,095
H29	3,244	8.9	89.0	16,808,298	5,181
対前年差	674	1.9	19.0	6,283,896	1,086
対前年比	126.2	127.1%		159.7%	126.5%

2 共同生活援助事業 夢の郷

- 4月から城山荘（定員5人）を休止し、あすか・はるか・南風荘・朝海ハイムⅡの4箇所総定員25人で運営しています。入院する人が減って充足率は95.0%で前年度より3.7ポイント増加しています。共同生活援助事業へのニーズが高いことがうかがわれます。

利用者・職員・住民の安全・安心の充実のために、夜間支援体制の充実を図ったり、体力面等で不安を抱える利用者に対して、日中サービス支援策を検討する必要があります。

また、地域での空家・アパート活用等、幅広い住環境整備に努める必要があります。

事業所名	事業名	定員	開設日	介護給付費等収入	
夢の郷	共同生活援助		365日		
年度	年間延利用者数(人)	1日利用者数(人)	充足率(%)	年間収入(円)	1日1人当り(円)
H28(定員30)	10,010	27.4	91.3	56,057,070	5,600
H29(定員25)	8,672	23.8	95.0	44,975,795	5,186
対前年差	-1,338	-3.6	3.7	-11,081,275	-414
対前年比	86.6%	86.7%		80.2%	92.6%

3 アンダンテ

- 日中一時支援事業については、1日平均利用者数が15人名で前年度より1.2人増加しています。特に、土曜日・日曜日は就労継続支援B型事業所等での作業等がないため利用者が多くなり、今後ゆったりくつろげるスペースやメニューを工夫する必要があります。
- 地域で単身生活をする人のため、夕方からの利用も増えてきました。
- ピアサポート活動を充実させる必要があります。

事業所名	事業名	定員	開設日	介護給付費等収入	
アンダンテ	日中一時支援	20	365		
年度	年間延利用者数(人)	1日利用者数(人)	充足率(%)	年間収入(円)	1日1人当り(円)
H28	5,089	13.9	69.5	25,610,382	5,032
H29	5,503	15.1	75.5	26,770,329	4,865
対前年差	414	1.2	6.0	1,159,947	167
対前年比	108.1	107.9%		104.5%	96.7%

4 クローバーハウス（就労継続支援 B 型事業）

- クローバーハウスの利用者数は、定員近く利用されています。しかし、利用者の退所も 6 人いて不安定な状況となっています。継続利用の方々も年々高齢化が進み、作業効率の低下や、対面販売ができる人が減少してきています。利用者に適した作業内容・作業工程、作業時間の検討が必要です。

事業所名	事業名	定員	開設日		
クローバーハウス	就労支援 継続B型	20人	269日	介護給付費等収入	
年度	年間延利用者数（人）	1日利用者数（人）	充足率（%）	年間収入（円）	1日1人 当り（円）
H28	5,076	18.9	94.5	42,754,420	8,423
H29	5,240	19.5	97.5	43,885,432	8,375
対前年差	164	0.6	3.0	1,131,012	-48
対前年比	103.2%	103.2%		102.6%	99.4%

5 いすず工房

1 就労継続支援 B 型事業

- いすず工房の利用者数は、前年度より 0.9 人減少しています。利用者の方々は年々高齢化が進み、作業効率や体力の面での配慮を必要とする人が増加してきています。利用者に適した作業内容・作業工程、作業時間の検討が必要です。
- いすず亭を地域の一人暮らし老人達のふれあいの場とする地域貢献を検討します。

事業所名	事業名	定員	開設日		
いすず工房	就労支援 継続B型	20人	269日	介護給付費等収入	
年度	年間延利用者数（人）	1日利用者数（人）	充足率（%）	年間収入（円）	1日1人 当り（円）
H28	4,892	18.2	91.0	40,774,467	8,335
H29	4,653	17.3	86.5	41,740,961	8,971
対前年差	-239	-0.9	-4.5	966,494	636
対前年比	95.1%	95.1%		102.4%	107.6%

2 生活介護事業（多機能型）

平成 29 年度 6 月より旧城山荘（平成 30 年 4 月 1 日より休止）の空き部屋を活用し事業開始したため、充足率は 48.8%であった。今後は利用者の増加、及び軽作業を含めた支援メニューの充実等に更なる努力が必要です。

事業所名	事業名	定員	開設日	介護給付費等収入	
いすゞ工房	生活介護	8 人	224 日	年間収入 (円)	1 日 1 人 当り (円)
年度	年間延利用 者数 (人)	1 日利用 者数 (人)	充足率 (%)	年間収入 (円)	1 日 1 人 当り (円)
H29	864	3.9	48.8	5,660,534	6,552

「アンダンテ」

●一般相談支援事業

- ・計画相談
地域生活をコーディネートし、自分らしい生活へのプランを提案します。

●日中一時支援事業

- ・憩いの場、余暇活動の機会、食事、入浴等のサービスの提供を行います。

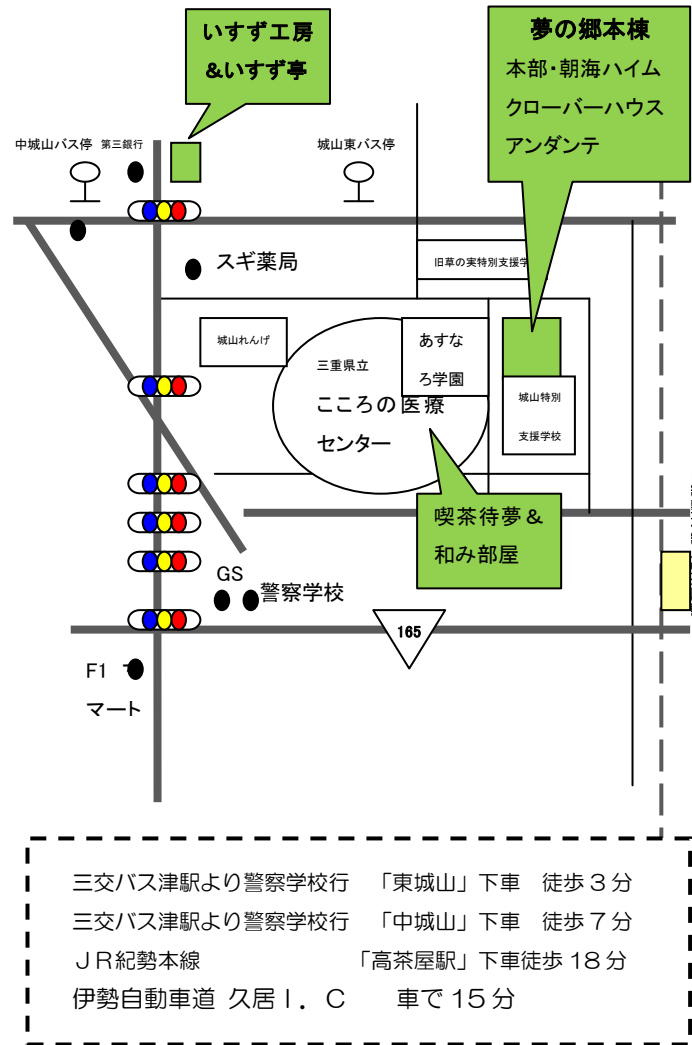
●津市障がい者相談支援センター

障がいのある方の、生活、福祉、就労などについての相談窓口です。

●津市障がい者相談支援センター

サテライト 「アンダンテ」

精神障がい者の相談支援及び地域移行や地域定着のための相談支援を行います。



事業案内

社会福祉法人 夢の郷



津市城山一丁目8番16号

TEL 059-238-0303
FAX 059-238-0304

夢の郷は、障がい者が安心して地域で暮らせるよう、生活支援を行います

クローバーハウス

- 就労継続支援B型事業

パン製造・販売

受託作業

☎ 059-234-5939

Fax 059-238-0304

缶詰パン



いすず工房

- 就労継続支援B型事業

(製麺・販売・受託作業)

いすず亭 (うどん屋)

喫茶待夢 (こころの医療センター内)

- 生活介護事業

☎ 059-234-0020

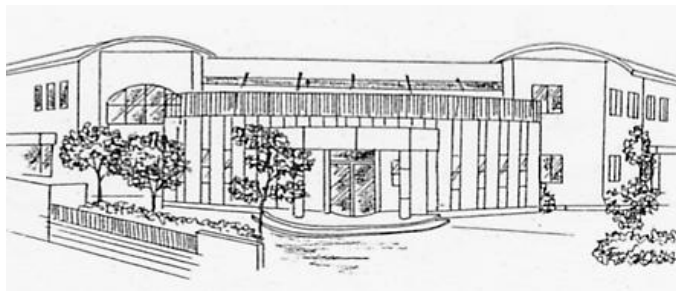
Fax 059-234-0155

あさみ 朝海ハイム

- 宿泊型自立訓練事業

- 生活介護事業

和み部屋 (こころの医療センター内)



○利用につきましては、福祉サービス受給者証が必要です。
居住地の市町福祉課にご相談ください。

はるか・あすか・

南風荘・朝海ハイムⅡ

共同生活援助事業所

平成29年度 行事等実施報告

項目 月	行事等	災害訓練	健康管理・衛生関係	会議
4月		20 火災訓練(グループホーム)	5 天の川歯科医講和	6 運営会議
		27 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	19 高茶屋診療所医師講和	
5月	5 就労支援事業所交流会	15 防災地震避難訓練(いすず工房)	天の川歯科医講和	11 運営会議
		18 防災地震避難訓練(グループホーム)	16 高茶屋診療所医師講和	16 監事監査
		25 防災避難訓練(朝海ハイム宿泊)		19 津市自立支援協議会
				30 理事会
6月	6 三家連総会	15 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医講和	1 運営会議
	17 三重県連精障害者事業所連絡会総会	27 火災訓練(朝海ハイム宿泊)	20 高茶屋診療所医師講和	21 定時評議員会
	28 三家連精神保健福祉大会			19 津市精神保健福祉連合会
7月	12 県障害福祉サービス事業者等集団指導	11 本体・グループホーム消防設備点検	天の川歯科医講和	6 運営会議
	18 三重県精神保健福祉協議会	20 防災台風訓練(グループホームホーム)	19 高茶屋診療所医師講和	14 三重県連精障害者事業所連絡会
	26 医療センター夏祭り	25 火災訓練(朝海ハイム宿泊)		18 津市自立支援協議会
				26 津市精神障害者連合会
8月	14 地域盆踊り大会	17 火災訓練(グループホーム)	2 職員定期健康診断	3 運営会議
	15			
	17 県連精障害者事業所連絡会例会	24 火災訓練(朝海ハイム宿泊)	3 天の川歯科医講和	21 計画相談検討会議
			9 利用者定期健康診断	29 ゆかいな仲間コンサート
			16 高茶屋診療所医師講和	30 津市精神障害者連合会
9月	2 ぶどう狩り	1 防災訓練(アンダンテ・いすず工房)	7 天の川歯科医講和	7 運営会議
	17 県連精障害者事業所連絡会例会	21 火災訓練(グループホーム)	20 高茶屋診療所医師講和	13 城山地区懇談会
		22 消防合同訓練		21 理事会
		26 防災地震訓練(朝海ハイム宿泊)		23 スポーツレクリエーション大会
				30 津市精神保健福祉連合会
10月	28 しつとこ祭	2 防災地震訓練(朝海ハイム生活介護)	天の川歯科医講和	2 自立支援協議会
	18 みんなネット全国大会(岡山)	13 火災訓練(朝海ハイム生活介護)	18 高茶屋診療所医師講和	4 津市精神保健福祉連合会
	19 三重県社会福祉大会	19 火災訓練(グループホーム)		5 運営会議
		30 避難訓練(朝海宿泊 火災報知器)		14 理事会・評議員会
				18 津市自立支援協議会
11月	14 三重県精神保健福祉大会	8 防災訓練(いすず工房)	1 天の川歯科医講和	6 運営会議
	16 県精神事業所連絡協議会例会	16 火災訓練(グループホーム)	15 高茶屋診療所医師講和	14 三重県精神保健福祉審議会
	19 みかん狩り	28 避難訓練(朝海ハイム宿泊 防災グッズ点検)		5 津市精神保健福祉連合会
				20 三重県連精障害者事業所連絡会
12月	22 クリスマス会	21 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医講和	7 運営会議
	29 すき焼き忘年会	22 防災訓練(朝海ハイム宿泊)	20 高茶屋診療所医師講和	21 三重県連精障害者事業所連絡会
				18 理事会
1月	12 新年交流会	18 防災訓練(グループホーム)	11 天の川歯科医講和	11 運営会議
		22 防災地震避難訓練(アンダンテ)	17 高茶屋診療所医師講和	25 三重県連精障害者事業所連絡会
		24 防災訓練(朝海ハイム宿泊)		
2月	3 豆まき	15 火災訓練(グループホーム)	天の川歯科医講和	1 運営会議
		20 地震防災(朝海(生活介護))	21 高茶屋診療所医師講和	22 三重県精神保健福祉審議会
		23 避難訓練(朝海ハイム宿泊)		22 三重県連精障害者事業所連絡会
3月	2 夢まつり	15 防災訓練(グループホーム)	8 天の川歯科医講和	8 運営会議
		27 火災避難訓練(朝海ハイム宿泊)	28 高茶屋診療所医師講和	13 理事会
				22 評議員会

平成29年度 実習・研修・見学受入報告

1実習の受入れ

区分	学校名	期間	人数	延べ日数	備考
看護師	津看護専門学校	H29, 5, 18	5	1	
		H29, 7, 13	5	1	
		H29, 8, 2	5	1	
		H29, 8, 3	5	1	
		H29, 8, 24	5	1	
		小計	25	5	
	三重大学看護学科	H29, 7, 10~7, 12	11	3	
		H29, 10, 11	10	1	
		H29, 10, 25	9	1	
		H29, 11, 8	10	1	
		H29, 11, 22	10	1	
		H29, 12, 6	10	1	
		H29, 12, 20	10	1	
		H30, 1, 17	9	1	
H29, 1, 31	10	1			
	小計	89	11		
看護師 合計			114	16	
介護等体験	三重県社会福祉協議会				
		小計	0	0	
	三重大学				
		小計	0	0	
介護等体験 合計			0	0	
その他	津市立南郊中学校				
		小計	0	0	
	三重大学教育学部 附属特別支援学校				
		小計	0	0	
その他 合計			0	0	

人数	延べ日数
114	16

2見学・研修受け入れ

機関・施設名	期間	人数	延べ日数	備考
あすなる学園	H29, 4, 18	6	1	
こころの医療センター 作業療法士	H29, 5, 2	3	1	
志摩市地域民生委員	H29, 11, 7	23	1	
	小計	32	3	

平成29年度 実習受入報告

職種等	学校	実人員	日数
精神保健福祉士		0	0
計		0	0
看護師	津看護専門学校	25	5
	三重大学医学部看護学科	89	11
小計		114	16
職場体験実習		0	0
小計		0	0
合計	2箇所	114	16

平成29年度 ボランティア受入報告

実人員	ボランティア内容	年間延べ日数
1	清掃を通してのアンダンテとの交流	12
1	受託作業を通しての利用者交流	
2	行事への参加協力	
4名		12

平成29年度 介護体験等実習受入報告

学校名	実人員	延べ日数
三重大学	0	0
皇學館大學	0	0
立命館大学	0	0
合計	0	0

平成29年度「研修委員会」報告

外部研修

No	実施日		研修名	実施機関	人員
	月	日			
1	5	31	社会福祉法人役員幹部職員研修会	三重県精神保健福祉会	2
2	6	13・14	新任職員研修課程Ⅰ	三重県社会福祉協議会	1
3	6	28	第42回三重県精神保健福祉会松阪大会 「早く治せ」なんて言わないで	農業屋コミュニティーセンター	3
4	6	29・30	新任職員研修課程Ⅱ	三重県社会福祉協議会	1
5	7	20	平成29年度新規事業者向け説明会 ニーズに基づいた個別支援計画策定について	三重県障害者相談支援センター	1
6	7	20・21	新任職員研修課程Ⅱ	三重県社会福祉協議会	2
7	8	10	平成29年度道府県経営協セミナー 「要チェック 改正社会福祉法施行後の法人経営」	三重県社会福祉協議会	1
8	8	23	経営協 会計担当者養成集中講座 「社会福祉法人新会計基準での会計実務」	三重県社会福祉法人経営者協議会	1
9	9	4	平成29年度公正採用選考研修会 「人権問題の解決に向けて」他	三重県労働局	2
10	9	5	食中毒予防体感セミナー	ダスキン株式会社	2
11	9	5・6	平成29年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 管理者コース	管 三重県社会福祉協議会	1
12	9	7・8	平成29年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダーコース	三重県社会福祉協議会	1
13	9	12	さんかれん家族研修会 「精神障害者の居住支援の現状とこれからは」	三重県精神保健福祉会	1
14	9	14	三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会学習会 「司会力をつける」	三重県精神障害者福祉事業所連絡 協議会	2
15	9	14・15	第36回全国社会福祉法人経営者大会 「『心に届く』話し方・働き方のコツ」	全国社会福祉法人協議会	2
16	10	3・4	平成29年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 堅職員コース	中 三重県社会福祉協議会	2
17	10	6	平成29年度 三重県障害者工賃向上計画支援事業セミナー 工賃向上に必要な視点と知識	株式会社インサイト	2
18	10	19	第66回三重県社会福祉大会 「地域に住まう認知症の“ひとの気持ち”に寄り添う」	三重県社会福祉協議会	4
19	10	19・20	みんなネット岡山大会	全国精神障害者家族会	1
20	10	19・20	平成29年度 生涯研修課程 堅職員課程	中 三重県社会福祉協議会	1
21	11	2・9・10	サービス管理責任者研修 介護分野	三重県障害者相談支援センター	1
22	11	10	こころの元気研修会 「病院から地域の切れ目のない支援を目指して」	三重県立こころの医療センター	6
23	11	17	津市障がい者計画相談事業所連絡協議会研修会 「計画相談支援に係る報酬・基準について」	津市障害者計画相談支援事業所連 絡協議会	1
24	11	22	平成29年度 三重県障害者工賃向上計画支援事業セミナー 事例研究&シナリオ ・ライティング	株式会社インサイト	1

25	11	28	第11回福祉施設のための「リスクマネジメント研修会」	損保ジャパン日本興亜株式会社	2
26	12	12	居住支援フォーラム	三重県居住支援連絡会	1
27	1	10	平成29年度 三重県障害者工賃向上計画支援事業セミナー マーケティング&営業	株式会社インサイト	1
28	1	16・17	平成29年度リーダ養成一ゼミナール 「修了生フォローアップ研修会」	全国社会就労センター協議会	1
29	1	30	平成29年度度道府県経営協セミナー(後期) 「ここで差がつく 明日からの社会福祉法人経営」	三重県社会福祉法人経営者協議会	2
30	1	30	健康保険及び厚生年金被保険者の資格及び報酬等について	津年金事務所	1
31	2	6	平成29年度 三重県障害者工賃向上計画支援事業セミナー 工賃向上計画策定	株式会社インサイト	1
32	2	22	平成29年度業種別研修障害福祉施設研修Ⅱ サービス 等利用計画と個別支援計画の作成について学ぶ	三重県社会福祉協議会	2
33	2	27	平成29年度 災害時福祉支援リーダー養成講座	三重県社会福祉協議会	1
34	3	11	平成29年度ボランティア連絡協議会研修 神戸視察研修	津市ボランティア協議会	1
35	3	12	平成29年度自主研修 遇マナーを指導するために	接 三重県社会福祉協議会	1
36	3	14	平成29年度 三重県障害者工賃向上計画支援事業セミナー 就労アセスメントと個別支援計画	株式会社インサイト	6
37	3	26	平成29年度第2回経営セミナー 「経営視点からみた福祉人材の採用・育成・定着」	三重県社会福祉法人経営者協議会	2
				合 計	64

内部研修

No	実施日		研修名	研修講師	人員
	月	日			
1	8	9	新人職員研修報告会	前川 河邊 清水 河本 岡田	10
2	11	8	障害者虐待防止研修(研修委員会)	三栗	5
	11	27	障害者虐待防止研修(アンダンテ)		3
	12	5~13	障害者虐待防止研修(朝海ハイム)	野崎 森山	13
	12	13	障害者虐待防止研修(いすゞ工房利用者)	岡田	10
	12	14	障害者虐待防止研修((いすゞ工房職員)	川岸	8
	12	25	障害者虐待防止研修(クローバーハウス)	高木	6
	12	6回	障害者虐待防止研修(グループホーム)	戸島 坂井 河戸	19
3	3	14	施設長研修伝達	山本	3
				合 計	77

平成29年度「苦情解決委員会」報告

1 苦情集計

件数			
5月	2	内容	クローバーハウスの利用者支援について。環境整備や掃除は皆でやってほしい。
		改善策	利用者さんが、心身共に疲れたり困った様子の時には早めに気づき対応する。皆が働きやすい環境を作る。
		内容	床が汚れているようなので、綺麗にしたい。
		改善策	5月27日に床の掃除を行なった。年間清掃計画(5月8月11月)に清掃業者による床清掃を委託している。
9月	1	内容	みのりお客様駐車場に法人の車がクラクションを鳴らしてバックで駐車をした。お客様に迷惑をかけた。
		改善策	搬入車のお客様駐車場への駐車はルール違反であるので、お客様には迷惑をかけたこととお詫びした。 所定の搬入専門の駐車場を使用する様に指導した。
10月	1	内容	弁当の予約注文をしたが、約束時間を過ぎてても届かなかった。予定があるので約束を守ってほしい。
		改善策	到着10分前に出発する等余裕をもって出発する。学校・幼稚園・保育所など防犯強化施設については、出発前に連絡し、進入路の確認と開錠への対応を依頼する。様々な理由で遅延時は事前に連絡し了解をえる。
1月	2	内容	待夢の昼食時間(11時)を過ぎててもランチが届かなかった。お客様を待たせてしまった。
		改善策	決められた量を、決められた時間に計画的に納品する。遅くなる時にはあらかじめ連絡等をする。
		内容	トイレの換気扇の掃除を手伝うのでお願いしたい。
		改善策	掃除機による吸い込みだけで埃が取れない時は、その都度、換気扇を外にして掃除を行なう。毎月の掃除のほか見回りをし、気付いたら即、掃除を行なう。
2月	1	内容	ご飯をたくさん盛り付けてほしい。
		改善策	ごはんの盛り付けの時には、利用者さんに声掛けをして希望を聞いている。その日の体調や気分によって量を聞きながら、満足のいく対応を心掛ける。
合計	7		

2 苦情委員会報告

第1回	4月4日	苦情申し出窓口設置についての通知
第2回	5月25日	苦情検討2
第3回	6月1日	運営委員会報告
第4回	9月19日	苦情検討1
第5回	10月5日	運営委員会報告
第6回	10月6日	苦情検討1
第7回	11月6日	運営委員会報告
第8回	1月4日	苦情検討1 運営委員会報告
第9回	1月11日	運営委員会報告
第10回	1月23日	苦情検討1
第11回	2月1日	運営委員会報告
第12回	2月22日	苦情検討1
第13回	3月8日	運営委員会報告

平成29年度「危機管理委員会」報告

1 委員会開催

第1回	4月3日	火元確認表配布
第2回	4月8日	年間計画 防災、防火避難訓練計画 事故報告の検討(2)
第3回	5月15・29日	ヒヤリハット報告検討(3)事故報告(1)
第4回	7月5・28日	ヒヤリハット報告検討(4)事故報告(1)
第5回	8月10	ヒヤリハット報告検討(2)事故報告(2)
第6回	9月1・19・22日	火災報知器操作方法マニュアルについて。避難訓練マニュアル確認 事故報告(2)
第5回	11月14・15日	ヒヤリハット報告検討(3)事故報告(2)避難訓練マニュアル確認。
第6回	2月6・7・16日	事故報告(4)ヒヤリハット報告(2) 29年度 まとめ

2 ヒヤリハット

	件数		
5月	3	内容	無断外出 夜勤配置GHにて所在不明になる。洗濯場奥のウッドデッキにいるところを発見。
		改善策	夜間巡回、所在の確認を確実にしていく。
		内容	熱中症 室温が高い居室でエアコンを使用せず過ごし熱中症になる。
		改善策	室温によってはエアコンを使用する。熱中症対策を行っていく。
		内容	地域徘徊 日中城山地域のゴミ集積所の中にいるところを地域住民が発見。
6月	1	内容	食数不足 てしおフーズに発注していた数の間違いがあり、1食分不足する。
		改善策	てしおフーズ発注分の確認を行い、変更があった時には変更を行う。
7月	4	内容	その他 体調不良の利用者をGHまで送迎中に利用者がドアを開け降り、徒歩にてGHに戻る。
		改善策	送迎マニュアルに沿って行う。
		内容	品質管理 クッキーとラスクが入っている箱に缶詰パンを入れる。
		改善策	商品に対する管理の意識を持つようにしていく。
		内容	その他 一志精工の部品の作業間違い。
		改善策	毎回作業工程表の確認を行う。納品前には再度確認を行う。
8月	2	内容	所在不明 作業終了後戸締りの確認中に和室で寝ている利用者を発見する。
		改善策	定期的に関各利用者の所在の確認。
		内容	その他 GH利用者の入浴時間が1時間以上かかる。
		改善策	入浴時間中は職員配置を行う。
9月	6	内容	その他 GH利用者の長時間入浴し浴室から自力で出れない状態であった。
		改善策	入浴時には職員の見守りを行う。
		内容	誤作動 火災報知器誤作動。計4件
		改善策	火災報知器の点検、修繕を行う。火災報知器の操作マニュアルの作成。
		内容	食事管理 エビアレルギーがある利用者にエビ入りつくねを提供する。
		改善策	調理する前に原材料の確認。アレルギー対応については厨房に紙面化する。
10月	1	内容	食事管理 麦ごはんの水分量の間違い。
		改善策	分量の確認を徹底する。
11月	3	内容	服薬支援 GHホールに利用者薬が落ちていた。
		改善策	薬は利用者の手の上に置くか口に入れ、服用後の声掛け確認を行う。
		内容	誤薬 朝薬と夕薬を間違えて服薬する。
		改善策	薬ケースでの管理について、利用者の認知機能や年齢も考慮して支援を行う。
		内容	無断外出 日中活動利用中の利用者がGHへ無断で戻る。
2月	2	改善策	定期的に関各利用者の所在の確認。
		内容	誤薬 朝薬と夕薬を間違えて服薬する。
		改善策	定期薬手渡し時に薬袋に記載している氏名等を声に出して確認を行う。
3月	1	内容	個人情報保持 家族より自宅売却にて本人の証明が必要。
		改善策	個人情報(コピー)を上司に相談なく渡しかけた。
		改善策	個人情報管理について運営規定に基づき慎重に対応する。
		改善策	家族背景を踏まえ対応。利用者を守る。
3月	1	内容	品質管理 弁当に髪の毛が混入していた。
		改善策	厨房に入る時にはエプロン、帽子、コロコロをする。
計	23	内容	転倒 クローバーハウス通所中にふらつきあり転倒する。
		改善策	定期薬の調整中でふらつきが強い。当面送迎支援を行う。

3 事故報告

		件数		
4月	2	内容	接触事故	三愛工業倉庫内にて他業者の車へ接触する。
		改善策		ホロ付きの車の運転時には後方確認ができていくより一層注意する。
		内容	精神状況の悪化	GH利用者が同ホーム利用者に対して金銭の要求を行う。
		改善策		利用者の不穏時には早期に対応する。必要に応じて行政関係機関とも連携する。
5月	1	内容	異食	GH利用者へ間食提供時に菓子の乾燥剤も渡してしまう。
		改善策		間食提供時には利用者に合わせて支援を行っている。
7月	1	内容	その他	一精工の部品作業の工程を間違えて納品する。
		改善策		作業マニュアルの確認を行い、納品前には確認を行う。
8月	2	内容	無断外出	夜間勤務者の制止を振り切り玄関の鍵を開け出ていく。管理者への報告が遅れる。
		改善策		夜間支援マニュアルに沿った支援を行う。
		内容	品質管理	缶詰パンの賞味期限と製造年月日を間違えて印字し、納品する。
		改善策		納品先に謝罪し、新しく印字した物と交換。印字前に2人体制で確認する。
9月	1	内容	品質管理	パンの成型を間違え納品する。
		改善策		納品先に謝罪し、成型間違えがあったもので対応する。
10月	1	内容	転落	朝海ハイムⅡ玄関にて左足を踏み外す。翌日整形外科受診。立法骨の骨折。
		改善策		利用者の移動を検討。怪我があった場合には早期に受診を行う。
11月	1	内容	服薬忘れ	昼食後の服薬支援を1週間怠った。
		改善策		昼食担当者が欠かさず服薬支援を行うように周知する。
12月	2	内容	品質管理	弁当納品後にご飯が入っていないと納品先から連絡を受ける。
		改善策		納品前には弁当の確認を複数で行い、再発防止に取り組む。
		内容	苦情対応	弁当納品先からの苦情対応を管理者に相談せず対応を行う。
		改善策		報連相を行い、対応していく。
1月	2	内容	品質管理	購入したパンの中に髪の毛が混入していた。
		改善策		異物混入が無いようにパン製造の全工程にて注意する。
		内容	交通事故	交差点にて停車していた時に後続車に追突される。
		改善策		対応も問題なく行われている。
2月	4	内容	品質管理	弁当納品後、鶏の味噌焼きが生焼けであると連絡を受ける。
		改善策		弁当納品前には調理者とは別の職員がチェックを行う。
		内容	品質管理	かきあげの中に菜箸の先が混入していた。
		改善策		木製のものではなく、鉄製の物へ変更していく。調理器具は定期的に点検を行う。
		内容	転倒	職員が出勤後古くなったサンダルを新しい物に変更し、歩行中に足首を捻る。
		改善策		動きやすい服装、靴で勤務を行う。
		内容	物損事故	通院同行中に病院駐車場にて建物に接触する。
改善策		運転時には周囲の確認を行い、安全運転を行っていく。		
3月	1	内容	転倒	朝海ハイム玄関にて転倒。2日後に利用者から報告を受け、受診を行う。
		改善策		段差がある場所には注意し、利用者の見守りを行っていく。
計	18			

平成29年度「広報委員会」報告

広報委員会は、夢つうしん発行、夢まつり 2018 開催に向けた会議を 16 回開催し検討・協議を行いました

1 夢つうしんを 2 回発行し、関係機関等へ 250 部あまり配布しました。

(1) 夢つうしん 40 号を平成 29 年 9 月に発行しました。

主な掲載内容

①「入院に依らない精神科医療をめざして」

寄稿 NPO 法人三重県精神保健福祉会 理事長 山本 武之氏

②こんにちは宿泊型自立訓練事業所朝海ハイムです

③就労継続支援 B 型事業所いすず工房の新しい事業

④就労継続支援 B 型事業所クローバーハウスの活動

(2) 夢つうしん 41 号を平成 30 年 3 月に発行しました。

主な掲載内容

①「津マルシェ」に出店しています！

②ピアサポーターって何？

③いすず工房お店紹介 喫茶待夢、和み部屋

④夢まつり 2018 へのご来場ありがとうございました

2 夢の郷のホームページの更新について

(1) 夢つうしん 40 号、41 号を掲載しました。

(2) 平成 28 年度の決算関係書類、事業報告書、財産目録、現況報告書、法人定款、役員報酬基準、監事監査報告書を掲載しました。

3 年賀状について

日頃からお世話になっている関係者及び関係機関等に送付しました。

4 地域交流

(1) 城山東地域盆踊り（平成 29 年 8 月 14 日）に参加しました。

(2) 地域溝掃除（隔月第 3 日曜日）に参加しました。

(3) 夢まつりを平成 30 年 3 月 2 日(金)午前 10 時から午後 2 時に開催しました。170 名余りの方が来場いただきました。

特に午後 1 時からのイベント「夢の音楽会」はゲストの大谷直加先生のピアノ伴奏で大いに盛り上がりました。

伊勢新聞、三重ふるさと新聞、三重タイムスに掲載されました。

平成29年「給食委員会」報告

1 総括

各事業所より利用者のニーズを聴きとり、嗜好に合った食事を提供した。
バラエティー豊富な食事提供の為、全職員を対象にアンケート調査を行った。
各事業所検食当番からの意見を聞き取りして、改善を行った。
厨房内衛生管理に努め、食中毒予防と異物混入の防止に努めた。
食中毒セミナーへの参加で、厨房の衛生管理への意識が高まった。
調理機器の改善や整理整頓により厨房内の整備を行った。
各事業所より利用者のニーズを聴きとり、メニューの改善を行った。
咀嚼や嚥下が困難な人への対応を検討し、食べやすい食事が提供できた。

2 協議内容

前月の昼食・夕食検食結果について
次月のメニュー・正月や行事メニュー検討について
各事業所より提案された意見を活かした改善について
その他、緊急の課題について

3 開催状況と検討内容

月	検討内容
4	季節感のあるメニュー 冷蔵・冷凍庫の食材の管理
5	食中毒対策 利用者さんへの手洗い指導
6	食数把握の徹底 熱中症対策水分補給への声掛け 0157検品開始
7	サラダ等への生野菜からゆで野菜への変更等
8	朝食メニューの改善 9月10月にヨーグルトからサラダへの試行
9	昼食用パンのレーズンパンに変更について
10	朝食メニューの改善について フルーツ類の提供
11	食材の補充について 厨房の衛生管理伝達研修
12	年末年始メニューの検討、片付け・洗い物等の手順とマナー
1	夢まつり準備とおもてなしメニュー、ノロウィルス感染予防について
2	メニューのマナーを失くすために
3	家庭料理アンケート調査実施について

平成 29 年度 協力医療機関訪問実施報告

1 みえ医療生活共同組合高茶屋診療所

1 定期訪問

宮崎医師及び看護師等による健康に関する講話を聴くことで利用者・職員が知識を深めた。利用者も健康に関して意識も高まり月 1 回の講和では多くの質問が出されるようになった。

2 月別講和テーマと参加人数 *第3水曜日開催

月/日	講話テーマ	参加者数(利用者・職員)
4/19	高血圧について	17
5/16	糖尿病と間食について	15
6/20	熱中症予防のために	21
7/19	食中毒について	17
8/16	健康的生活をおくるには	10
9/20	健康診断結果について	15
10/18	誤嚥予防について	23
11/15	風邪の予防について	22
12/20	インフルエンザと予防接種	17
1/17	胃腸風邪・ノロウイルス予防	24
2/21	花粉症について	21
3/28	健康に関するフリートーク	15
	合計	217

2 協力医療機関 天の川歯科

1 定期訪問

- 1 福島歯科医師の定期診療
- 2 毎月の定例歯磨き指導
- 3 歯の衛生管理に関する講話、昼食後の歯磨き習慣ができた。
- 4 毎日、昼食前に嚙下体操を行っている

2 月別講和テーマと参加人員、及び歯科治療数

月	講話		歯科治療	
	テーマ	参加者数	来所回数	治療者延数
4	歯磨き指導	16	4	15
5	口腔ケア	16	4	14
6	義歯の装着について	17	4	20
7	義歯の固定剤の使用	18	4	9
8	歯磨き指導	18	4	9
9	嚙下体操実技	17	4	6
10	歯磨き指導	15	3	9
11	歯ブラシの持ち方指導	19	4	22
12	義歯装着時の食事		3	15
1	嚙下体操実技	17	4	21
2	歯周病のケア		3	18
3	歯磨き模型による指導	18	3	15
	合計		41	173

平成29年度 「法人本部」事業報告

1 評議員及び役員(理事・監事)の改選等について

- ・評議員の定数7名中2名が新規就任、他の5名は継続して就任いただきました。
(任期:平成29年4月1日～4年後の平成33年6月開催の定時評議員会終結の時まで4年間)
- ・役員(理事6名・監事2名)は、8名全員が継続就任していただきました。
(任期:平成29年6月21日～平成31年6月開催の定時評議員会終結の時まで2年間)

2 理事会の運営について

理事及び監事出席のもと下記の月日で開催し、議案等を審議していただきました。

第1回(平成29年4月1日)・理事の互選により、日野理事が理事長に選出されました。

第2回(平成29年5月30日)

- ・平成28年度事業報告
- ・平成28年度最終補正予算
- ・平成28年度収支決算報告
- ・監事監査結果報告
- ・社会福祉充計画
- ・規程改正(経理・役員報酬)

第3回(平成29年6月21日)・理事長選定 決議省略・みなし決議

第4回(平成29年9月21日)

- ・平成29年4月～8月事業計画進捗状況
- ・平成29年4月～7月予算の進捗状況

第5回(平成29年12月18日)

- ・平成29年9月～11月事業計画進捗状況
- ・平成29年8月～10月予算の進捗状況
- ・クローバーハウスの備品積立金の取崩
- ・第1次補正予算

第6回(平成30年3月13日)

- ・平成29年12月～2月事業計画進捗状況
- ・平成29年度予算第2次補正
- ・平成30年度事業計画
- ・平成30年度当初予算
- ・給与規程規則改正
- ・評議員会の開催
- ・正規職員、パートタイム職員就業規則改正

3 評議員会の運営について

評議員、理事及び監事出席のもと下記の月日、議案等を審議していただきました。

第1回(定時評議員会 平成29年6月21日)

(報告事項)・平成28年度事業報告

(決議事項)・平成28年度決算

- ・監事監査結果
- ・社会福祉充実計画
- ・役員(理事・監事)の選任
- ・役員報酬規程の改正

第2回(平成30年3月22日)

- (決議事項)・平成30年度事業計画
(報告事項)・地域おける「ふれあいうどん」
- ・平成30年度当初予算
・平成30年度管理者

4 本部事業について

- 1 理事会、評議員会の円滑な運営に努めました。
- 2 改正社会福祉法に対応するため役員改選、定款変更等を行いました。
- 3 夢の郷将来構想について、具体的な進展は十分図れませんでした。
- 4 運営会議を毎月第1木曜日15時から開催し、情報共有等に努めました。
- 5 臨時運営会議を数回開催し、労働問題の解決に向け検討・協議を行いました。
- 6 南中学校ナイトスクールに対する夜食用パン提供は、学校側の申出により中止としました。
- 7 共同生活援助事業所(グループホーム)あすか、及び宿泊型自立訓練事業所朝海ハイムに毎夜勤務者を配置する夜間支援体制を整備しました。
- 8 事業所ごとの利用状況や収支、法人全体の収支等の経営状況等を把握した資料を、運営会議や理事会等に提供しました。
- 9 法人規定を見直し、規程整備を行いました。
- 10 消防設備や台風被害等による不良箇所の修繕、職員用大駐車場の除草等の環境整備に努めました。
- 11 法人の公益的な取組みとして、いすず亭での「ふれあいうどん」を企画しました。

平成29年度 「朝海ハイム」 報告

宿泊型自立訓練事業（定員10名）
生活介護事業（定員20名）

1 総括

① 宿泊型自立訓練事業

- ・体験利用を重ねることで、病院からの地域移行が進んだ。
- ・宿泊型自立訓練の結果、グループホームへの移行や地域の単身生活が可能になった。
- ・訓練終了後の住まいについて検討していく。

② 生活介護事業

- ・毎日の入浴や決まった時間の食事と服薬で、安定した清潔な暮らしが継続できた。
- ・サービスを受けることにより地域での暮らしが継続できた。
- ・軽作業（はさみ金具・ストロ前等）への参加で社会参加ができた。
- ・医師による講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。
- ・訪問歯科受診にて医師からの指導と講話を受け歯磨き習慣ができてきた。

2 年間延利用者（開設日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宿泊型 自立訓練	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	開設365日
	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	5	延実数117人
	181	232	256	299	292	266	245	280	307	308	268	309	延3,243人
生活介護	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	開設269日
	19	19	17	17	17	16	16	17	18	17	17	17	延実数207人
	331	359	302	305	293	286	302	293	342	331	292	338	延3,774人

平均利用者数 宿泊型自立訓練 8.9人 生活介護事業 14.2人

3 地域別利用者数（29年4月1日～3月31日）

	津市	伊勢	松阪	尾鷲	四日市	大紀	計
宿泊型 (人)	12	1	1		1		14
生活介護 (人)	15	1	1	1		1	19

4 年齢別利用者数

	20～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	65～	計 実数
宿泊型 自立訓練	2	1	1					3	7		14
生活介護		1		2	3	1	5	5	2	5	24

5 サービス終了後の結果

	継続	グループ ホーム	自宅	アパート	就労B型	他施設	入院	その他	計 (実数)
宿泊型自立訓練	5	2	1	2			1		11
生活介護	17				3				20

6 職員体制

	宿泊型自立訓練事業	生活介護事業
管理者兼務 サービス管理責任者	1名（常勤）	1名（常勤）
生活支援員	1名（常勤） 1名（非常勤）	3名（常勤）
夜勤支援従事者	1名以上	
地域移行支援員	1名（非常勤）	
医師・看護師		2名（非常勤）

7 日課

	宿泊型自立訓練事業 (スタッフ勤務時間)	生活介護事業
サービス提供時間	7:00~19:00 (内、6時間) 年末年始、土、日曜日 10:00~19:00	8:30~15:00
訓練内容 (サービス内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊による自立訓練 ・ 朝夕食事提供 ・ 地域移行支援 ・ 健康管理 ・ 生活相談 ・ 生活支援 ・ 夜間防災体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事・入浴・排せつ介護 ・ 日常生活上の支援 ・ 軽作業 ・ 地域交流 ・ 創作活動、余暇活動 ・ 相談 ・ 健康管理・指導

8 その他の事業

- ・ 各圏域障害者相談支援センターとの連携
- ・ 各圏域障害者相談事業所との連携

9 行事

- ・ 津地域精神障害者連合会交流・地域での清掃活動等参加 ぶどう狩り・みかん狩り
- ・ 病院とのピアサポート交流、御殿場海開き、しっとこ祭、夢まつり

10 災害訓練

- ・ 自立訓練事業所、生活介護事業の日中防災・防火訓練 年3回
- ・ 夜間を想定した避難訓練(防災・防火) 12回

1 1 健康管理

- ・定期検診（X線検査含む）と検便
- ・生活介護事業 月～金バイタルチェック実施（高茶屋診療所、天の川歯科と連携）
- ・宿泊型自立訓練事業 生活習慣病のチェック及び指導
- ・インフルエンザ対策としてうがいと手洗いの励行
- ・インフルエンザの予防についての講話
- ・熱中症対策についての講話
- ・歯みがき指導

1 2 事業所内研修

宿泊型自立訓練

- ① 職員の責務、現状業務について
- ② リスクマネジメント
緊急対応について（夜間）
感染症対策・インフルエンザ、ノロウイルスの対応について伝達
- ③ 接遇研修の伝達
- ④ 虐待防止対応の伝達

生活介護

- ① 新任研修 リスクマネジメント・個人情報保護
業務について
- ② 障害者差別解消法について
- ③ 接遇・利用者への対応 苦情対応
- ④ 危機管理・緊急時の対応
職員健康管理

1 3 苦情解決

宿泊型自立訓練

- ① 苦情 無
- ② 意見 無

生活介護

- ① 苦情 無
- ② 意見 無

平成29年度 「クローバーハウス」 報告

就労継続支援B型事業（定員20名）

1 総括

- ・ パンの製造と販売を通して、地域交流ができた。
- ・ 目標工賃を上回る工賃アップができた。（平均工賃 時間給455円）
- ・ クッキーの成型機の購入により、安定した生産ができるようになった。
- ・ 津市松菱物産展・お伊勢さん菓子博に出展し広域的な販売宣伝ができた。
- ・ 材料費の高騰が目立ち、菓子パンの売上げが減少した。
- ・ ルート配達・対面販売・パンセット配達それぞれ減少傾向にあり見直しが必要。
- ・ 津市の助成金もあり、自治会・行政機関から缶詰パンの注文を受けることができた。

2 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者人数	22	25	25	25	26	26	23	26	22	22	22	22	286
延利用日数	416	468	455	459	477	441	463	468	412	406	367	408	5,240
延就労時間	2143	2314	2217	2186	1925	1752	1784	1838	1646	1602	1477	1657	22,541

3 地域別利用者数

市町名	津	明和	志摩	四日市	計
人数	25	1	1	1	28

4 年齢別利用者数

	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～68	計
人数	1	2	3	9	2	2	6	1	3	28

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	2名（常勤）
生活支援員	2名（常勤）
目標工賃達成指導員	4名（非常勤）

6 作業種目

- ① パンの製造販売・ルート配達
- ② クッキー・焼き菓子の製造販売
- ③ 工場受託作業

7 日課

作業時間：8：30から15：30

作業日：事業所カレンダーによる開設 原則月曜から金曜日

年間269日

8 主な販売・イベント・地域交流

○定期販売先（敬称略）

井村屋 嬉野SA上り 草の実特別支援学校 農業屋みのり久居店・松阪店
白山社会福祉協議会 マックスバリュー城山店・一志店・垂水店・津北店
三重県庁 心豊苑 ぎゅうとら 河芸道の駅・朝津味・ベルファーム

○イベント・地域交流

津市物産まつり 三重県民文化祭総合フェスティバル コープみえ三重総大会
M祭 安全フェスタこころの医療センター夏祭り 松菱ふるさと三重物産展
みんなネット三重大会 三家連精神保健福祉大会、お伊勢さん菓子博 三重県精神
障害者福祉事業者連絡協議会総会 地域夏まつり 美し国農商工連 携フェア
高茶屋診療所まつり 南が丘ふれあい祭 新町フェスタ
城山特別支援学校文化祭 みえ人権フォーラム 高茶屋小ふれあいまつり
精神保健福祉三重県大会 あすなろ学園祭 橋南中バザー
榊原病院文化祭 久居病院文化祭 ミカン狩り 津高・津東高文化祭

9 災害訓練

事業所合同訓練・火災通報訓練
防災訓練

10 健康管理

定期検診（X線検査含む）
インフルエンザ接種 蔓延防止のための対策
検便

11 その他の事業

三重県工賃向上計画推進事業

12 事業所内研修

- ① 新人研修
理念と苦情処理
- ② 虐待防止研修
- ③ 工賃向上セミナーアドバイザー派遣事業

13 苦情解決

苦情	2
意見	1

平成29年度 「いすず工房」 事業報告

就労継続支援B型事業（定員20名）

生活介護事業（定員8名）

1 総括

①就労継続支援B型事業

- ・ 工賃アップにより経済的自立への見通しがついた。（時間給 平均工賃507円）
- ・ 仲間同士で作業を教えあい協力して働く体制ができ、チーム力が高まった。
- ・ 弁当箱組み立てや箸入れ袋折り等の作業になれて、新たな作業の導入ができた。
朝海ハイム生活介護事業と連携して、和み部屋を運営した。
喫茶、うどん店、和み部屋での接客により、マナーの向上が図れた。
弁当に地元の食材を使用して、地域貢献が出来た。
うどん店の営業により、地域交流が図れた。
デイサービスへのランチ提供により地域の高齢者との交流ができた。

②生活介護事業

- ・ バイタルチェック・服薬管理により、安定した健康な暮らしが継続できた。
- ・ 仲間との交流や余暇活動への参加で、豊かな暮らしができた。
- ・ 一貫張り作成・ビスの並べ替え作業等で社会経済活動への参加ができた。
- ・ 医師による講話や看護師の指導を受け健康な暮らしへの意識が高まった。

2 年間延利用者（開設日数）

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用者数	21	20	20	21	21	22	21	21	21	20	20	20	248
延利用数	403	407	385	397	364	373	395	394	417	382	343	393	4653
延就労時間	1999	2070	1948	1997	1832	1863	1986	1946	2088	1879	1664	1909	23181

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数			22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	224
利用者数			3	3	4	4	5	5	5	6	6	6	47
延利用数			65	67	71	69	98	72	96	115	93	118	864

平均利用者数 就労継続支援B型事業 17.3人 生活介護事業 3.9人

3 地域別利用者数

	津市	明和	松阪	志摩			計
就労継続（人）	21	1	1	1			24
生活介護（人）	6						6

4 年齢別利用者数

	20～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	51～ 55	56～ 60	61～ 65	65～	計
就労支援	1	1	2	2	1	1	2	2	2	10	24
生活介護							1	4		1	6

5 職員体制

職名	配置状況
管理者兼務生活支援員	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）
職業指導員	1名（常勤1名）
生活支援員	4名（常勤4名）
目標工賃達成指導員	2名（非常勤2名）
医師・看護師	2名（非常勤）

7 日課

	就労継続B型事業	生活介護事業
サービス提供時間	8：30～15：30	8：30～15：00
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食・弁当事業 ・ 喫茶・飲食店 ・ 製麺事業 ・ 工場受託作業 ・ 和み部屋 ・ 三重県工賃向上計画推進事業 ・ デイサービスへの食事提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事・入浴・排せつ介護 ・ 日常生活上の支援 ・ 軽作業 ・ 地域交流 ・ 創作活動、余暇活動 ・ 相談 ・ 健康管理・指導

8 行事

- ・ 津地域精神障害者連合会交流
- ・ 地域での清掃活動等参加
- ・ ぶどう狩り
- ・ しとこ祭、夢まつり

9 災害訓練（年間）

- 防火訓練 2回
地震防災訓練 1回

10 健康管理

- 定期検診（X線検査含む）
インフルエンザ接種
検便
血圧測定
生活介護は毎日のバイタルチェック

11 事業所内研修

1) 新任研修

- ① 職員の責務、現状業務について
- ② リスクマネジメント
緊急対応について（夜間）

2) 継続研修

- ① 統合失調症 正しい理解と対応
- ② 三原則を守って食中毒を防止
- ③ 障害者虐待防止法の理解と対応
- ④ 熱中症予防と対策

1 2 苦情解決

- ① 苦情 2件
- ② 意見 0

平成 29 年度 「共同生活援助事業」事業報告

はるか・あすか・南風荘・朝海ハイムⅡ・城山荘

1 総括

- 1) 朝夕の支援体制の強化を図り、必要なグループホームには夜間支援従事者による支援体制を組むことで安心な暮らしが継続できた。
- 2) 健康管理・服薬確認・金銭管理等必要な生活支援を行った。
成年後見制度等の利用で、支援ネットワークが広がった。
- 3) 夜間の携帯電話での連絡体制作りや早朝のホーム巡回を行い、利用者の安否確認に努めた。
- 4) 定期的な通院同行及び緊急受診同行等医療機関と連携による、健康管理を行った。
- 5) 就労先又は日中活動事業所と連絡調整を行い、暮らしの安定を図った。
- 6) 月一回の防災訓練と、個人用の防災グッズの配備により、防災意識が高まった。
- 7) 城山荘 平成29年4月1日から休止

2 年間利用者数

	定員	3月末現員	延利用者数	平均実利用者数
はるか	8	7	2,901	7.9
あすか	7	6	2,510	6.9
南風荘	5	5	1,535	4.4
城山荘				
朝海ハイムⅡ	5	4	1,726	4.9
計	25	26	8,672	23.8

3 区分による利用者数

障害程度区分	延利用者数	平均実利用者数	比率(%)
2	1,184	3.3	14
3	2,880	7.9	33
4	1,842	5.1	21
5	2,401	6.6	28
6	365	1.0	4
計	8,672	23.8	100

4 地域別利用者数

	津	伊勢	松阪	志摩	尾鷲	明和	玉城	紀北	大紀	計
人数	20	1		2	1	1	1		1	27

5 年齢別利用者数

	～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～	計
人数	1		1	1	5	4	4	11	27

6 職員体制

職名	配置状況
管理者	1名(常勤)
サービス管理責任者	1名(常勤)
世話人	12名(常勤2名 非常勤10名)
生活支援員	4名(常勤4名 非常勤2名)

7 防災対策

すべてのグループホームに自動火災警報装置、防犯カメラ、防犯センサーライトを設置
非常用防災用品の備蓄(個人の防災グッズ)

地震避難訓練 6回

防火・防災訓練 6回

8 事業所内研修

1) 新任研修

2) 継続研修

① 障害者差別解消法について

② 接遇

ケースを通して利用者への対応を学ぶ

③ リスクマネジメント

事例検討

9 苦情解決

苦情 無

意見 無

平成29年度 「アンダンテ」 報告

1. 実施事業内容

1) 地域生活支援事業(日中一時支援事業)

- ・地域で暮らす障害者の日中の見守り支援と相談支援
- ・食事、入浴・服薬支援及び必要な人への送迎
- ・余暇活動支援(体操・ティータイム・ジャズコンサート・みかん狩り・人形劇)
- ・地域交流(自治会溝掃除・盆踊り・関係機関文化祭参加)

年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用延日数	434	445	455	470	463	434	452	486	471	470	455	468	5,503

1日平均利用者 15.1人

契約市町別

	津	亀山	松阪	玉城	明和	伊勢	志摩	大紀	尾鷲	計
利用者数	43	1	2	1	1	2	2	1	1	52

2) 特定相談事業(計画相談)

- ・津市自立支援協議会本会及びワーキングに企画・参加し、事業所間ネットワークが広がった。
- ・新規利用者の計画相談を受け、障害福祉サービスに繋いだ。
- ・障害福祉事業所と連携し、地域の暮らしが継続できた。
- ・病院からの相談も多く、地域移行が進んだ。
- ・地域割や本人の希望による、他の相談支援事業所への異動もあった。
- ・新しい相談事業所も増えて、系列の事業所を利用することでサービス終了となった。
- ・包括支援センターとの連携で、介護保険への移行がスムーズに出来た。
- ・津市 119名 他市 13名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規・更新	10	10	5	10	8	9	12	18	11	13	9	10	125
モニタリング	10	16	12	11	12	11	12	14	10	17	9	9	143

2. 関係機関との連携

1) 津市地域自立支援協議会

本会会議

津市障害者計画・第5期津市障害者福祉計画策定参画

地域移行ワーキンググループ(精神保健福祉班)

くらしワーキンググループ

2) 津市精神保健福祉連合会

研修会・当事者とともにスポレク大会に企画・参加

医療費助成に関する津市への要望と陳情

- 3) 三重県精神保健福祉会
 - 三重県精神保健福祉松阪大会
 - みんなネット岡山大会参加
 - さんかれん研修会参加

- 4) 三重県精神保健福祉協議会
 - 精神保健福祉大会参加

- 5) 三重県精神保健福祉審議会
 - 会議における意見交換と検討
 - 三重県精神障害者福祉事業所協議連絡協議会への報告

- 6) 三重県精神障害者福祉事業所連絡協議会
 - 定例会・総会・学習会と研修会参加
 - 事業所間の連携と情報共有
 - 施設見学会

- 7) 津市計画相談事業所連絡協議会
 - 学習会・研修会・交流会への参加

3. 防火・防災訓練
 - 年3回実施

4. 事業所内研修
 - 1) 新任研修
 - ① 日中一時支援事業について(業務と利用者支援)
 - ② リスクマネジメント
 - ③ 感染症対応について
 - 2) 継続研修
 - ① 職場のコミュニケーションをよくするために
 - ② ニーズに基づいた個別支援について
 - ③ 個人情報および特定個人情報管理について
 - ④ 障害者虐待防止

5. 苦情解決
 - 苦情 0件

平成29年度「津市障がい者相談支援センター」報告

1 総括

- 1) 相談支援の必要な人への定期訪問や巡回等により地域で安心して暮らせるようになった。
- 2) 相談支援の結果、情報提供を行い関係機関連携し、福祉サービスの利用へ繋がった。
- 3) 地域自立支援協議会への参加により、ネットワークが広がった。
- 4) 就労希望者には、就労・生活支援センターとの連携を図り、その人にあった就労支援を行った。
- 5) 津市における虐待対応について予防と早期発見のための支援を行った。
- 6) ピアサポーターと病院を訪問し、地域での暮らしを共に考え地域移行を推進した。

2 事業の内容

- ① 福祉サービスの利用援助
- ② 社会資源を活用するための支援
- ③ 社会生活力を高めるための支援
- ④ ピアカウンセリング
- ⑤ 権利の擁護のために必要な支援
- ⑥ 専門機関の紹介
- ⑦ 地域自立支援協議会の運営
- ⑧ 専門的な相談支援等を要する困難ケースへの対応
- ⑨ 津市障がい者虐待防止センターに関する業務
- ⑩ 障がいを理由とする差別の解消の推進
- ⑪ 精神障がい者の地域移行・地域定着支援のコーディネート業務
- ⑫ 社会資源見学会実行委員会の運営

3 年間利用者数

津市障がい者相談支援センター業務統計

月	内容											計	方法						計
	サービス利用等	障害や病状	不安情緒	健康・医療	家族人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他		訪問	来所	同行	電話 メール	会議	関係機関	
4	56	7	114	48	57	1	13	9	0	0	0	305	16	11	6	185	1	86	305
5	35	13	121	44	42	9	14	5	0	0	0	283	15	22	5	163	7	71	283
6	62	13	89	68	61	7	10	9	1	2	0	322	22	16	4	161	8	111	322
7	64	23	96	56	34	16	15	11	2	0	0	317	14	28	6	138	14	117	317
8	120	31	76	46	46	29	12	5	1	1	2	369	20	21	4	177	10	137	369
9	79	22	68	42	6	39	40	4	1	0	3	304	21	18	8	130	10	117	304
10	62	9	95	39	13	10	54	2	3	0	0	287	33	17	8	120	14	95	287
11	155	45	115	49	25	1	63	2	2	0	1	458	26	25	10	205	13	179	458
12	95	65	70	23	2	6	42	0	0	0	0	303	18	16	6	135	6	122	303
1	72	6	65	28	7	14	81	0	0	0	0	273	10	16	8	111	5	123	273
2	60	6	86	26	18	12	46	0	0	0	0	254	16	15	10	133	10	70	254
3	41	30	134	24	25	10	22	1	0	10	3	300	9	16	9	183	13	70	300
計	901	270	1129	493	336	154	412	48	10	13	9	3775	220	221	84	1841	111	1298	3775

津市障がい者相談支援センター サテライト業務統計

月	内容											方法							
	サービス利用等	障害や病状	不安情緒	健康・医療	家族人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加等	権利擁護	その他	計	訪問	来所	同行	電話 メール	会議	関係機関	計
4	19	4	11	8	0	3	1	1	24	0	4	75	0	27	0	25	1	22	75
5	30	6	6	22	5	2	0	5	52	1	4	133	10	57	0	27	4	35	133
6	9	0	10	12	6	1	1	1	122	1	10	173	5	132	0	20	5	11	173
7	15	6	5	81	26	1	0	6	20	0	2	162	35	83	0	27	9	8	162
8	11	2	24	9	7	1	3	2	13	1	31	104	1	51	0	40	2	10	104
9	11	5	29	4	3	0	11	15	2	0	3	83	2	29	2	39	1	10	83
10	6	4	11	8	4	1	14	4	2	1	23	78	0	49	0	22	1	6	78
11	8	2	6	7	2	1	14	4	28	1	24	97	1	68	0	13	6	9	97
12	15	12	9	4	3	0	15	3	14	0	23	98	0	58	1	27	2	10	98
1	15	5	9	3	1	0	1	3	1	0	15	53	1	22	0	25	1	4	53
2	14	10	4	1	4	0	3	1	17	6	3	63	0	32	0	11	3	17	63
3	14	4	9	4	5	1	1	4	165	0	4	211	0	182	1	18	1	9	211
計	167	60	133	163	66	11	64	49	460	11	146	1330	55	790	4	294	36	151	1330

平成29年度工賃向上報告書

クローバーハウス

1. 概要

主な生産活動内容	パンの製造販、パンセット仕分けに係る作業、地域企業より部品組立の受託作業
----------	--------------------------------------

○利用者数

定員	20名	延利用者数	282名
----	-----	-------	------

2. 工賃実績

○工賃総額 10,258,433円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	H28	H29	
平均工賃実績額	454円	455円	時給
月額工賃実績額	42,402円	35,869円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ①誰もができる受託作業と単価の高い作業の提供。
- ②5S推進による効率の良い働きやすい職場環境の整備。
- ③クッキー製造機器の導入による大量生産体制。
- ④缶詰パン販売促進のための積極的な営業活動。
- ⑤利用者が共にパン製造に関われる仕組み作り。

具体的な取組み

- ①部品作業受託先事業所に作業の安定確保を依頼した。
- ②ミーティングや部署会議において、現状の売上や販売管理費・原材料費等の状況改善を諮った。
- ③イベント等には1個当たり単価の高い商品の販売を増やした。
- ④津市・松阪市内の高校への昼食用パンの対面販売や、施設への出張販売を行った。
- ⑤研修に参加し、コンサルタントからの提案や助言を受け、クローバーハウス全体で共有した。

課題等

- ①パンの売り上げ金額が年々減少し、パンセットのルート配達も最盛期の半数に落ち込んでいる。
- ②缶詰めパンの販売先開拓をしているが目標に達していない。
- ③事業推進のためには職員掛けでなく、パンの製造に利用者さんの参加が必要である。

平成29年度 工 賃 向 上 報 告 書

いすゞ工房

1. 概要

主な生産活動内容	製麺とうどん店での接客・喫茶接客・弁当給食に係る作業・和み部屋運営・地域企業より部品組立の受託作業
----------	---

○利用者数

定 員	20名	延利用者数	248	名
-----	-----	-------	-----	---

2. 工賃実績

○工賃総額 11,792,632 円

○平均工賃

	実績	実績	備考
	H28	H29	
時給実績額	505円	506円	時給
月額工賃実績額	47,195円	47,297円	

3. 工賃引き上げに向けた取組み

工賃向上に向けた業務見直し

- ① 季節感のある弁当モデルメニューと顧客名簿の作製をし、計画的に事業を進める。
- ② 各作業の担当及びサブ担当者を決め、責任ある業務の遂行を行う。
- ③ タイム顧客の要望を取り入れランチメニューに変化をつける。
- ④ 作業の整理と作業が途切れなく提供できるよう計画的に受注をする。
- ⑤ 利用者全員がどの作業にも取り組めるよう、作業工程を細分化する。

具体的な取組み

- ① 顧客に満足してもらえるよう、季節感のある弁当の提供をした。
- ② 受託作業のミスをなくし、効率よく働けるよような職場環境を整えた。
- ③ 利用者が飽きないように、給食委員会以外の職員にもアンケートの協力を依頼した。
- ④ 作業終了後の検査等で労働強化にならないよう、作業種目について分担をした。
- ⑤ 写真やマニュアルの活用で作業工程をわかりやすく示した。

課題等

- ① 利用者一人ひとり家族やグループホーム等と連携を行い、体調管理と暮らしの支援を行う。
- ② 手狭な作業場のため、常に5Sを推進し利用者・職員の安全の確保に努める。
- ③ 給食・弁当メニューに季節感を取り入れ、マンネリ化しない様に変化をつける。
- ④ 作業終了後の検査等で職員の労働強化にならないよう、業務の整理と分担を図る。
- ⑤ 高齢者デイケアの給食提供のマニュアル化と人員体制を整える。